

大学等名：日本福祉大学

テーマⅤ（卒業時における質保証の取組の強化）

系統的履修体系の確立に向けてディプロマ・ポリシーと整合のとれた正課教育全体の最適化を進め、その上で学部の正課教育を中心に、キャリア形成や学生生活、基礎リテラシーを含む、学士課程教育全体の中での学生の修了時の学修到達状況を説明できるツールとして日本福祉大学版ディプロマ・サプリメント「学修到達レポート（仮称）」を発行し、卒業時の質保証を行います。それを支える取組として、①個々の学生に対して、教務、就職、学生生活の3つの側面から学修到達状況を表示する「統合学生カルテ」と学修成果を蓄積するポートフォリオシステムにより進展される学修成果の可視化、②それを踏まえた毎年次のラーニング・アウトカム評価の実施、③総合的な学修支援機関「学修管理・支援部門」と学部との協働によるエンロールメントマネジメントの組織的推進、を有機的に連関させながら推進することで、学士課程教育の一層の実質化を図ります。

